

専門科目試験問題

次の問題 A、問題 B をそれぞれの指示にしたがって解答しなさい。

解答には必ず所定の解答用紙を用いること。

専門科目試験問題

問題 A

受験票に記載した予定履修分野の問題から1問を選んで、所定の解答用紙に日本語もしくは英語で解答しなさい。

履修分野 I

1. 吉見俊哉は、見田宗介の言葉を引用し、次のように書いている。「(前略) 七〇年代初めまで、実際に実現した物質的な豊かさに違和感を覚えながらも、若者たちは現実の彼方にある『夢』を追い求め続けた。しかし、八〇年代以降の日本社会のリアリティ感覚は、もはやそうした『現実』とその彼方にあるべき何ものかの緊張関係が失われた『虚構』の地平で営まれるようになる。この時代の人びとの生活を特徴づけていくのは、『リアリティの「脱臭」に向けて浮遊する<虚構>の言説であり、表現であり、また生の技法であった』(吉見俊哉『ポスト戦後社会』岩波書店、2009年、iv-v頁)。現代文化は上記のような「虚構」の文化であるだろうか。特定の国や地域、年齢層などから具体例をあげて論じなさい。
2. 所得、職業や身分、年齢やジェンダー、地域や国の差や相違を格差と呼び、この格差によって階層化された社会を格差社会と呼ぶ。文学、映画、舞台芸術(オペラや演劇等)などから作品を1つあげ、その作品における格差(社会)の表象について分析しなさい。
3. 国家の境界と文化の境界の関係性について、具体例をあげながら論じなさい。
4. 精神科医の北山修は、人生という劇場では、定番化しやすい物語の台本が、状況や相手役を変えて繰り返される、と述べ、分析の仕事はこの台本を読み取ることだとしている。この考えを援用すると、社会事象や文化事象の背後に隠されている「定番の物語」を明らかにすることで新たな見通しを得る研究としてはどのようなものが考えられるか、具体例を1つあげて説明しなさい。

履修分野 II

5. コミュニケーションについて、それが成立している、もしくは成立していないということが議論されるケースがある。コミュニケーションが成立していないという場合の判断基準にはさまざまなものがあると考えられる。複数の判断基準について根拠をあげて説明しなさい。
6. あなたの母語にとって典型的であるとされている話し方のスタイルと、別の言語コミュニティに典型的だとあなたが見なす話し方のスタイルについて、具体的な場面を2つ以上あげて比較し説明しなさい。
7. 「外国語学習環境」における外国語教育で、授業内で **output** を行う活動をどの程度取り入れることが望ましいだろうか。対象となる外国語を示し、言語習得の理論・仮説などを踏まえた上で論じなさい。
8. 「シンボリック相互作用論 (symbolic interactionism)」について具体的に説明し、この理論が第二言語・外国語教育の研究にどのようにかわるかを論じなさい。

履修分野 III

9. 以下の (1)に見られるように、英語の *one* には代用形としての用法がある。このことを踏まえて、(2a)と(2b)の容認性の違いについて仮説を立てて論じなさい (*はその文が容認されないことを示す)。その際、(3a)と(3b)の例文にも言及すること。

- (1) This student is younger than that one.
- (2) a. *That student of mathematics is younger than that one of biology.
b. That student with short hair is younger than that one with long hair.
- (3) a. *I know that student with long hair of biology.
b. I know that student of biology with long hair.

10. 統計学では、一般的に頻度主義的立場とベイズ主義的立場とが区別される。それぞれがどのようなものであるかを、その特徴がわかるように、具体的な事例をあげながら説明しなさい。その上で、あなたの見解をできるだけ多角的に論じなさい。

11. 認知文法 (Langacker 2008)では、概念内容 (conceptual content) と解釈 (construal) が区別されている。この2つの概念およびその区別の有用性について、下記の例を用いて説明しなさい(例は Langacker (2008: 43) より引用、一部修正)。

- (1) a. the glass with water in it
b. the water in the glass
c. The glass is half-full.
d. The glass is half-empty.

12. 構文文法理論における「構文 (construction)」とは何か、具体例をあげつつ、次の語句を全て用いて説明しなさい。なお、用いる順序は問わない。

[ネットワーク、スキーマ、構成性の原理、語彙と文法の連続性]

問題 B

受験票に記載した予定履修分野とは関係なく、以下の問題から **1問を選んで**、所定の解答用紙に **日本語もしくは英語**で解答しなさい。

B1. 文化史家のジャック・バーザンは、「アメリカの心と精神を知りたいものは誰であれ、野球と、そのルールおよび実際を学んだ方がよい」“Whoever wants to know the heart and mind of America had better learn baseball, the rules and realities of the game...”と述べている (Barzun, Jacques. *God's Country and Mine*. Vintage, 1954, p. 151)。スポーツを通して文化について何が学べ、何が学べないかを、特定のスポーツと、特定の国や地域、年齢層などの文化に言及しながら論じなさい。

B2. 大学構成員(学生と教職員)における男女比のアンバランスが研究と教育にもたらす影響について、具体的な研究分野や実践分野を例にあげて論じなさい。

B3. 世界における国家の数は200足らずにすぎないのに対して、言語の数は5,000とも6,000とも言われている。このような状況で、国家公用語の地位にない多くのマイノリティ言語が消滅の危機に瀕している。そのようなマイノリティ言語の存続の意義について論じなさい。

B4. 「ポストモダニズム (postmodernism)」について具体的に説明し、この思想が教育に及ぼした影響について論じなさい。

B5. 研究を遂行する上で、対象に対して、はっきりと何かを確定的に一般化できる部分/場合と、複数の解釈や性質の可能性を慎重に場合分けしながら検討すべき部分/場合がある。そこで、まず、あなたが入学後専門にしたいと思う分野ないしは研究対象を説明し、次に、それについて上記の観点からあなたはどのような態度で研究に臨んでいきたいと考えるか、詳しく論じなさい。

B6. 次の例で、動詞 *fly* はそれぞれどのような意味で使われているか、共通点と相違点ができるように説明しなさい。また、なぜそのような共通点と相違点が生じるのか、言語学的な分析を考えて述べなさい。

- (1) a. The bird is flying in the sky.
- b. John is flying the kite.
- c. The flag is flying high.